



イラスト：菴 連也(いほり れんや)

福井県立福井特別支援学校 高等部 1年。  
国内に数人しか症例がない難病「高IgD症候群」を患っている。自身の体験と想像を膨らませてユーモラスな作品を描いている。  
2014年に京エコロジーセンター(京都)で、  
2015年にスペースユイ(南青山)で個展を開催し好評を博した。

【高IgD症候群】

遺伝子の変異により、乳児期に発症する自己炎症疾患。症状は周期性の発熱や頭痛、嘔吐、関節痛など。

表紙に込めた思い

家族と自然について会話をしている時に「そういえば最近カタツムリ見ないね」という話が出ました。

カタツムリのゆっくりとした動き、大きな殻の家を担ぐ姿に富士山の大きな自然の生命力とイメージが重なりました。カタツムリの殻には絶滅危惧種、外来種を描き、人と生き物の共存への想いを込め、絵を描きました。



# 広友グループ 環境報告書 2016

Koyou Group  
Environmental Report

## 広友ホールディングス株式会社

### 環境推進部

〒107-8433

東京都港区赤坂1-4-17 広友ビル

TEL 03-3587-1905 FAX 03-3587-1025

URL <http://www.koyou-holdings.co.jp>

発行 2016年8月





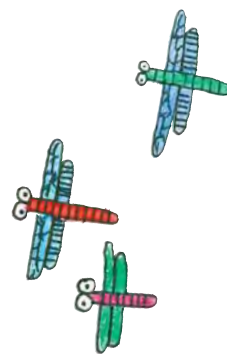


広友グループ社員



\ Share /

# みんなでシェアする 楽しいエコ活動



広友グループでは社員同士や  
地域とのコミュニケーションを大切にしています。  
楽しくコミュニケーションを取りながら、環境に配慮した活動をご紹介します。

## 堀川の清掃活動

広友レニティア 中部支店建設営業グループ 中内 絵子

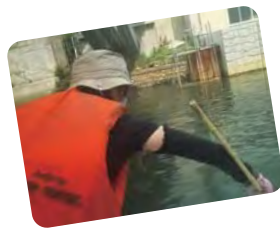
愛

知県名古屋市の熱田神宮やその周辺を観光名所として活性化させるため、周辺の堀川(河川)や公園をきれいにすることを目的にNPO法人「堀川まちネット」が発足しました。地域住民による毎月1回の定期清掃および年2回の一斉清掃が行われています。

2016年4月、名古屋市熱田区にある宮の渡し公園で春の堀川一斉清掃が96名のボランティア参加者で行われました。

私たちは船に乗り、タモを使用して約2時間ごみ拾いを行いました。特に公園付近の川は空き缶や弁当の容器など

のごみが大量に浮き、すぐに袋がいっぱいになりました。大きなごみはタモが折れそうなほど重く、直接軍手で拾い上げました。作業は大変でしたが皆で協力し、乗り切りました。この日収集したごみの総計はごみ袋38袋でした。

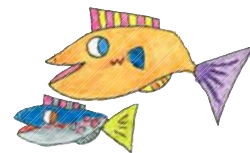


清掃活動参加者

今回の清掃を経験して、大変な作業だと思うとともに、住んでいる街をきれいにすることで自分や地域の方々が気持ち良く生活できるようになるという実感が湧き、嬉しくなりました。

また、何気なく見ていた堀川に愛着が湧き、今後も定期的に清掃活動に参加したいと思いました。一人ひとりでは小さな行動でも、多くの人と力を合わせることで大きな社会貢献につながることを実感しました。今後も中部支店の社員を巻き込み、ボランティア活動に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

参加者 中部支店 齋藤・白井・杉野・小田・中内



## お花見でのエコ

広友レニティア ビジネスサポートセンター 橘 三奈子

社

員で有志を募り、お花見をしました。お花見の醍醐味といえば、美しい桜の木の下で和気あいあいと楽しむ食事です！出前を取り、皆でシェアしました。残ってしまった食べ物はもちろん無駄にはせず、持参したタッパーに詰めて皆で分けました。主婦ならではの知恵です。エコを心掛け、ごみも皆で持ち帰りました。来年も美しい桜が見られるよう、自然を大切に、エコに関心を持っていきたいと思っています。

参加者 笠井・橋本・大吉・小室・馬屋原・小倉・田河・橋・村上・石井



集合写真

## キッチン付きレンタルスペースの魅力

広友ホールディングス 広報部 松田 千加子

キ

ッチン付きのレンタルスペースを借りて、社員の有志や外国人ゲストと共に手打ち蕎麦体験やクリスマス会を行いました。食材を持ち込み、備え付けの調理器具や食器を使って、皆で料理を楽しみます。皆で料理すると味も格別ですし、大いに盛り上がります！場所も食器も食材もシェアすると無駄がなくてエコですし、レンタルスペースは予算に合わせて時間単位で借りられるところもいいですね。



パーティー料理



## オープンガーデンの楽しみ

広友ホールディングス 環境推進部 氏家 徹

埼

玉県北本市では、3年前からオープンガーデンを年1回実施しており、今年も5月に市内21ヵ所で開催されました。私もオープンしているご近所の庭でお茶とクッキーを頂きながら、庭主さんの多彩な工夫と想いが込められたきれいな庭を拝見しました。この

催しは地域のコミュニティーの場として住民同士の共感を生むだけでなく、地域の緑化にも貢献しています。また、美しい緑を短い時間でもシェアすることで訪れた人の自然環境を大切に思う気持ちを育んでいるように感じます。



オープンガーデンの様子

### オープンガーデンとは

オープンガーデンは1927年にイギリスではじまった、個人の庭などを一定期間、一般に公開するという活動です。イギリスでは入場料を社会福祉事業や救済運動に寄付する慈善事業となっています。日本国内でもオープンガーデンに取り組む団体や自治体も増えてきました。イギリスのようにチャリティーとして実施するところもあれば、入場料は設定せず、花好きな方々が気軽に楽しみ、情報交換できる場として実施しているところもあります。

## contents

- 03 ■ トップ対談  
広友ホールディングス株式会社 社長 梅木健行  
×岩崎恭子氏  
未来との共生に向けて実践の輪を広げる
- 05 ■ 広友グループ事業紹介
- 07 ■ 特集  
JAPANPOWERS
- 環境報告
- 09 生物多様性への取り組み
- 11 理念・環境方針・環境マネジメントシステム
- 12 環境目標と実績
- 13 環境活動データ
- CSR活動報告
- 15 ダイバーシティ推進活動
- 17 ワークライフバランス
- 18 ■ グループデータ
- 第三者意見

## 編集方針

本報告書は、広友グループの環境への取り組みをステークホルダーの皆様にはわかりやすく伝えることを目的として発行しています。

- 参考ガイドライン  
環境省「環境報告ガイドライン2012年版」
- 報告対象期間  
2015年4月1日～2016年3月31日  
※一部対象期間外の報告も含む
- 報告対象範囲  
広友ホールディングス株式会社および子会社7社
- 発行  
2016年8月





# 未来との共生に向けて 実践の輪を広げる

「バルセロナ五輪における競泳史上最年少金メダリスト」の岩崎恭子氏をお招きして、広友ホールディングス代表取締役社長梅木健行と対談を行いました。対談は「未来との共生」を実現するため、事業と水泳というスポーツ競技を通して、いかに実践の輪を広げていくかをテーマに行われました。



## 環境と社会貢献への想い

**岩崎** 私は2007年に環境アンバサダーを拝命しました。水泳という競技に関わる中で、時折なんて贅沢な競技だろうと感じることがあります。日本では水道の蛇口をひねれば安全な水が出ますが、海外では水道水が飲めなかったり、日々の生活が苦しいところもあります。プールの水は、1年間何度も循環させて使っていることはご存知ですか？塩素やろ過技術が向上して、今は塩素の臭いもありしない衛生的なプールになっています。

**社長** 1年も循環させているのですね。広友グループは総合什器備品の販売およびレンタル事業、さらにその周辺事業である物流、保守サービス、リユース事業を展開しています。

特に循環するという点で、ものを使い捨てしないレンタルとプールの水は同じと言えますね。



**岩崎** レンタルと環境は関わりがあるのですね。

**社長** 広友グループは環境創造型企業として、環境理念を作りビジネスと環境貢献の両立を図っています。環境理念により環境負荷を減らし、次世代の人々と資源を共有

していくことをテーマに事業活動を行っています。

**岩崎** 私は環境アンバサダーになってから、ごみを資源として再利用するなどの環境に配慮した行動を意識するようになり、生活の中でもなるべく無駄がないように心掛けるようになりました。人前に立つことが多いので、意識して行動するようにしています。私の話を聞いてくださった方が、環境のことを考えるきっかけになってくれたらと思います。

**社長** 弊社の社会貢献の一つに「JAPANPOWERS」があります。これは日本のものづくりを応援することを目的に設立したウェブサイトで、全国の地域の特産品を紹介しています。そのうちの一つである日田杉の室内履きが「OMOTENASHI Selection 2016」を受賞しました。

日田杉の室内履きは、建築材として利用することができない曲がった部分を有効利用した下駄の技術から生み出されました。

**岩崎** 有効利用するという発想はいいですね。地域の活性化だけでなく、その商品を通じて様々な人がつながっている、そういう人の輪の広がりを感じます。

## 実践の輪を広げるには

**社長** 弊社の会長は「環境とビジネスが両立するためには、社員の協力が不可欠です。会社の資産で一番大事なのは

『社員』であり、将来設計が描けるような職場を提供し、企業を継続させなければいけません。」とされています。そこで、会社として社員教育に力を入れています。5年10年先の激変するビジネス環境を見据えながら会社も社員も自立しなければ実践の輪を広げることはできないと考え、今年からグループ各社の「自立経営」を推進する予定です。社員に対する教育では、「会社」「組織」「社員」の3つの「自立」を推進するプログラムを考えています。ところで、スポーツの世界では自立した人は強いのですか？

**岩崎** 自立した人はスポーツでも結果を出していますよ。例えば、北島康介さんは強くて優しく、人として魅力がある方なので多くの人が彼の周りに集まってくるのだと思います。

**社長** 目標になる方がいるというのは、わかりやすいですね。

**岩崎** 選手時代の彼は、言葉で何か指示をするわけではなかったと思いますが、その行動は周りに大きな影響を与えました。私が選手だった頃は、決勝に進出することを目標にしていたのですが、メダルを目標とするチームにまでなれたのは、彼を見て自分もできるかもしれないと思ったからではないかと思います。彼のように自分の行動を見せることも一つの実践の輪を広げる方法だと思います。

**社長** そのような選手がこれからたくさん出てくるといいですね。

**岩崎** 選手だけでなく、次世代を担う子どもたちへも自立する大切さを伝えたいですね。

そのためには、大人が子どもたちに考えるきっかけを与えないといけないと思います。私は世界を見た経験から、プールのある環境が当たり前ではないことを伝えたいと考えます。子どもたちにも、実際に見たり話したり聞いたりして経験を通じていろんなことに興味を持ち、自分で考えてもらいたいと思います。そして、たくさん友達をつくり、人と関わりながら相手の良さや考え方に触れてもらいたいと思います。

## 2020年東京オリンピックに向け、 環境面で期待すること

**岩崎** 東京オリンピックも環境への配慮が多面でされています。報道による影響力は大きいので、ご覧になった方の目が環境への配慮に向けられるような情報の出し方を考え、多くの人に伝えていただきたいと思います。日本は技術力が高いので先進的な環境への取り組みをもっと紹介していただきたいと思います。また、オリンピック、パラリンピックの壁がなくなることも期待しています。障害者への配慮を含め、誰もが競技を楽しめる環境をつくることは、心が豊かだからできることではないでしょうか。心の豊かさがなければ環境問題にも目を向けることができないと思います。環境への配慮と社会貢献は近いもののように感じます。



**社長** 弊社も企業活動を通じて、環境や社会課題の解決に貢献できる事業を展開していきたいと思います。

## 広友へのメッセージ

**岩崎** 事業を通して実践している環境への取り組み、そして社会貢献活動というポジティブなパワーが巡り巡って再び会社に戻ってくるということを感じました。そして御社のように人を育てるという強い意志があるところに人は育つものだと思います。オリンピックへの事業を通した環境貢献も含め、今後ますますのご発展を期待しています。

岩崎恭子氏 プロフィール  
14歳で出場した1992年のバルセロナオリンピックにて、200m平泳ぎで金メダルを史上最年少で獲得。1998年競技生活を引退後、児童の指導法を学ぶために米国へ留学し、水泳・着衣泳のレッスンやイベント出演を通して水泳の楽しさを伝える活動をしている。



# 広友グループ事業紹介

グループの総合力を結集して包括的なサービスを提供し社会に貢献します。

広友グループは各事業会社が連携を図りながら、販売・レンタル事業を核とする各種サービスをご提供しています。各事業はお客様への高い満足を実現するとともに、「環境共生への取り組み」、「グループ全体のシナジー効果」、「総

合的・包括的サービス」というグループ全体に共通する価値を活かし、ステークホルダーの皆様へ広く貢献してゆくための活動を推進しています。



## 広友レンティア株式会社

※2016年4月、広友リースは「広友レンティア」に社名変更いたしました。

広友グループが展開する「総合備品レンタル」の中核事業会社。建設現場事務所や不動産販売センター、各種イベント、一般企業向けレンタルなど、多彩なマーケットに対応。オフィス家具をはじめ、備品や家電品、OA機器などの多種多様な商品を揃え、空間プランニングを含めたレンタルのトータルソリューションをご提供しています。

## 株式会社リスタ

日本全国にリサイクルショップを展開する事業会社。地域のお客様や法人のお客様に向け、家具や備品、オフィス機器などを高品質・低価格でご提供。従来とは一線を画すリユース品をお届けし、環境貢献を目指しています。

## 広友ロジックス株式会社

日本全国に物流拠点を整備し、レンタル備品の配送・保管を請け負う事業会社。独自の在庫管理と輸送システムを構築し、お客様のご要望に「ジャストインタイム」でお応えしています。またレンタル備品のメンテナンスやクリーニング、修理なども担っています。

## 広友イノテックス株式会社

オフィスなどのIT環境整備とOA機器の保守点検サービスを提供する事業会社。レンタルのトータルソリューションの一環として提供するITネットワーク構築や情報機器の調達をはじめ、各種OA機器の保守点検・修理、アフターサポートなど、ICT技術を活かしたサービスを実施しています。

## 広友物産株式会社

各種事務機器とインテリア家具の企画・販売を手がける事業会社。オフィス家具や備品などを調達し、官公庁を中心に販売するとともに、リゾート施設向けのインテリア家具の企画・開発から販売などを行っています。

## 広友サービス株式会社

オフィスをはじめ、人が集い語らう様々な施設や空間に求められる多種多様なご要望に、快適で効率的、そして機能的な家具、什器備品、家電・OA機器を提供しています。

## ONEデザインズ株式会社

マンションのモデルルーム、販売センターにおける設計・施工・デザイン・インテリアコーディネート業務から、ご契約者の方々へのインテリアコンサルティングサービスなど様々なニーズに対応した快適空間づくりに取り組んでいます。

## 全国に展開する多彩な機能を持つ53のネットワーク

- 営業ネットワーク : 26拠点
- サービスネットワーク : 11拠点
- 物流ネットワーク : 10拠点
- リサイクルショップ : 6拠点





## 特集

日本のものづくりの魅力、  
楽しさを発信するウェブサイト

# JAPANPOWERS

## JAPANPOWERS

JAPANPOWERSは、地域社会の活性化に貢献したいとの想いから、日本のものづくりの現場を応援することを目的に広友物産が2013年7月に開設したウェブサイトです。日本各地にある魅力的な特産品をウェブサイトで紹介することで、ものづくりの魅力、楽しさを発信しています。

多くの特産品の起源は江戸時代まで遡り、その地域の

気候や風土、立地といった自然環境の影響を受けていると考えられます。JAPANPOWERSは、各地域の自然環境や文化によって育まれた魅力的な特産品だけでなく、作り手の情熱やものづくりの魅力を少しでも多くの人々に伝えたいと考えています。

### ●取り組み

JAPANPOWERSは、地域の生産者と協力して製品のPRを行っています。優れた技術を持つ生産者の販路拡大やマーケティングのお手伝いをしています。

### 生産者のPR

商品そのものに焦点を当てるのではなく、商品が生み出された文化や歴史、培われてきた技術やその作り手たちに焦点を当てて全国取材しています。

商品の背景に焦点を当てることで地域ブランドの向上につながると考え、地域の活性化を促しています。また、生産者自身も気づいていない魅力の発掘とウェブサイト閲覧者の好奇心を刺激したいと考えています。



型染職人 赤坂武敏氏

### 商品のPR・販路開拓

生産者と協力し、ウェブサイト掲載以外にも展示会への参加など多角的な紹介を行っています。

各賞へも応募し、日田杉の室内履きは「OMOTENASHI Selection 2016」を受賞しました。また、主要購読者と製品のユーザーが重なる雑誌への掲載も行っています。

販売経路を開拓するため、JAPANPOWERSの運営会社である広友物産の基盤を活用し、地方にいる生産者には開拓が難しい首都圏のセレクトショップなどに紹介しています。



彫漆家 鈴木忠次氏の漆器



日田杉を活用した下駄



WATALIS 着物地の巾着袋

### 新商品の開発

生産者である職人の多くは、地域や業種を超えたコラボレーションに興味を持っています。そこで木工職人と機屋、染物工房とデザイナーなどの業種を超えた交流を促し、革新的な商品の開発を目指しています。

新商品の開発は、開発から販売まで手間と時間がかかりま

### 日田杉の室内履きが OMOTENASHI Selectionを受賞

2016年3月2日、「OMOTENASHI Selection 2016」の受賞対象が発表され、日田杉の室内履きが受賞商品に選ばれました。

日田下駄は、古くより林業が盛んな大分県日田市で江戸時代から作られていると言われています。日田の下駄作りは、製材、木地(台)、仕上の3種類の工程を工房ごとに担当する分業制で作られており、現在でも多くの下駄工房が地元の日田杉を使って生産しています。その中の一つであるうらつか工房は、下駄の木地を作る工房で、今回受賞した日田杉の室内履きを作っています。

JAPANPOWERSは、2014年にうらつか工房を取材し、木を削り出す迫力のある工程と商品に魅せられました。その後、ウェブサイトでの掲載、「OMOTENASHI Selection」への挑戦をサポートしています。

日田杉の室内履きは、優れた機能性と高いデザイン性を兼ね備えた点が高く評価され受賞に至りました。今後も魅力ある商品を多くの人々に紹介してまいります。



うらつか工房  
作業の様子

### OMOTENASHI Selectionとは

「おもてなし」の精神にあふれた製品やサービスを日本全国から発掘し、世界に紹介していくためのプロジェクト。日本独自のおもてなしの魅力を日本人の有識者と、日本在住経験のある外国人選定委員によりグローバルな視点で審査し、受賞製品の価値を伝える広報支援、生活者の手元に届ける流通支援までサポートしています。受賞商品に選ばれたものは、国内に限らず海外にも情報が発信されています。

すが、生産者である職人にとって良い刺激となり、新たな気づきやより良いものを作る意欲にもつながります。

現在、新規プロジェクトとして、日田の工房と協力して新商品の開発に取り組んでいます。



### うらつか工房の 日田杉の室内履きの魅力

#### 1.しなる

今までの下駄にはない「しなる」下駄木地を開発し、歩きやすさを追求しています。

#### 2.心地よさ

インソール部分は無塗装の白木で作られています。杉特有の凹凸が足裏との密着を防ぎ、さらに木が汗を吸収するので、湿度の高い日本の夏にもさらっとした気持ちいい履き心地を実現しています。

#### 3.歩きやすさ

鼻緒を挿げることで、足にしっかりと付いてくる安心感のある作りとなっています。裏面には革を貼ることで適度な滑り止め効果を生み、室内でのスリッパや踵きを防止しています。

#### 4.デザイン性

美しい木目と柔らかな形によるモダンな印象を与えます。



## 環境報告

## 生物多様性への取り組み

広友グループは、環境を守る社会貢献活動に取り組みます。

## 「海の森」植樹イベントへの参加

広友グループは、環境を守る社会貢献の一環として、2015年10月23日に東京都主催の「海の森」植樹イベントに社員有志13名がボランティアとして参加しました。

当日は植樹リーダーの指導のもと、傾斜地にクロマツなど4種類の苗木を約80本植えました。

また2014年に植えた苗木が、無事に成長していることを確認しました。私たちが植えた苗木が将来美しい森となって次世代の子どもたちに受け継がれることを願います。

これからも多くの社員が社会貢献活動に取り組んでいけるように、継続して社員参加型の活動を続けてまいります。



集合写真



作業風景

## 「海の森」とは

「海の森」とは、東京港の中央に位置するごみと建設発生土で埋め立てられた島を植樹活動によって美しい森に生まれ変わらせるプロジェクトです。「海の森」は、東京湾から吹き込む風の通り道としての機能により、ヒートアイランド化する東京を冷やす効果が期待されるとともに、CO<sub>2</sub>を吸収して地球温暖化を抑制する役割を担っています。また、2020年の東京オリンピックで馬術競技やボート・カヌー競技などの会場としても計画されています。

植樹イベント  
参加者の声

育った木を見て、一度失ったものを取り戻すには長い年月がかかるのだと感じました。以前は、植樹活動に関心があっても一人では参加する勇気が持てずにいましたが、昨年に引き続き2年連続で体験することができ、嬉しく思います。



広友レニティア 九州支店建設営業グループ  
坂井 絵里佳

植えるだけだから簡単だろうと思っていましたが、土が固い上、斜面だったので苗木が斜めにならないように植えることに苦戦しました。いつかこの苗木が育って森がつくられると考えると、今から楽しみです。今まではすぐ先のことしか考えなかったのですが、10年、20年先を考える機会となりました。

広友レニティア ビジネスサポートセンター  
村上 千賀子



海拔30mの高さまでごみが埋め立てられていることに驚きました。そこに植樹することで、環境問題を考える機会になりました。また、オリンピック会場となる場所に植樹をしたことは貴重な体験です。海の森公園ができた際は行きたいと思います。



広友レニティア ビジネスサポートセンター  
熊倉 彩衣

環境活動に参加したのは、はじめてでした。想像以上に楽しく、また参加したいと思います。自分一人で活動することは難しいので、会社の行事を通して仲間と活動できる良い機会となりました。

広友レニティア  
建設ソリューション営業部  
石井 範美



楽しい上、学ぶことも多く有意義な時間を過ごせました。このプロジェクトに参加したことで、環境についての知識や関心も高まり、仕事へのモチベーションも保たれています。



広友イノテックス 東京SSアシスタントチーム  
石橋 春佳

ごみは年々減っているというものの、広大な面積と海拔30mの高さにもおよぶ埋立地があるということを知り、ごみ減量に対するさらなる意識の高まりが必要だと感じました。それでも費えた命(ごみ)から植樹を通して新たな命(植物)が育まれていくことに感動しました。

ONEデザインズ デザイングループ  
久保田 知敬



均等に成長させるために同じ種類の苗木を近くに植えること、深くて固い土と表面の土の役割が異なることなど興味深い説明を聞くことができました。都会で生活していると身近に自然を感じる機会が少ないので、植樹を通して景色や空気的美しさを感じ、癒されました。都会の空気が良くなることを願います。

広友イノテックス 本部営業グループ  
櫻臺 里恵



参加者の環境に対する意識の高さを感じました。また、現地ボランティアでは若年層が積極的に環境活動に取り組んでいるということを知ることができました。



ONEデザインズ 事業戦略グループ  
石川 展久

他部署の方と業務以外での交流があり有意義な時間を過ごせました。今後は周りの社員にも参加するよう働きかけ、この活動の輪を広げていきたいと思っています。

広友ロジックス 営業本部本部運営グループ  
山中 寿博



## 「富士山クリーン活動」への参加

環境推進部は、2015年11月14日にNPO法人富士山クラブが主催する「富士山クリーン活動」に参加しました。

遠目で見ると美しい富士山の麓には、大量の廃棄物があります。土に混じって回収したごみを、鉄くず、ガラスなど一つ一つ丁寧に分別するのは気の遠くなる作業でした。この廃棄物(3,000m<sup>3</sup>)を回収するには10年はかかります。

富士山のごみ問題を改善すべく、今後は社員の有志を募り、活動の輪を広げていきたいと思っています。



富士山クリーン活動の様子

## 富士山のごみ問題

現在、富士山5合目以上の登山道は登山者のマナー改善、ボランティアによる整備の効果でごみが減りつつあります。しかし麓では、過去にマニフェスト違反などで不法投棄された現場が多く残され、森林や動物の生息地の減少の原因になっています。また、地中には有害物質が含まれた医療廃棄物も埋まっており、水質・土壌汚染の原因にもなっています。



理念・環境方針・環境マネジメントシステム

広友グループ  
企業理念

全社一丸となり顧客を創造し  
社業発展、進歩を図り社会に貢献する。  
顧客から、値打ちのある評価をしていただける企業であること。

広友グループ  
環境理念

レンタル事業を核として、  
顧客のニーズにこたえ、  
環境負荷低減に努め、未来との共生を図る。

広友グループ  
環境方針

広友グループは、事務用備品等のレンタル・販売を核とした環境創造型  
企業として、全社一丸となり、企業活動及び社員の行動を通して、環境  
保全に努め、環境に配慮した商品を提供するとともに、環境法令を遵守  
し、資源節減、環境負荷低減を目指します。

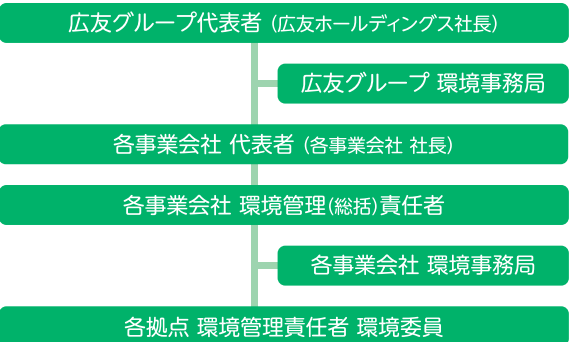
環境マネジメントシステム

環境創造型企業として環境との共生を目指すため、環境  
省策定の環境マネジメントシステム「エコアクション21」を  
導入し、環境活動の継続的改善を推進しています。認証・登  
録にあたってはグループ一丸となった取り組みを目指し、広  
友ホールディングスを核とした「複数法人による一括した認  
証・登録」を導入しています。

エコアクション21認証・登録状況

認証・登録事業者は広友ホールディングス株式会社、対象事  
業会社を広友ホールディングスの関連事業会社としました。  
対象事業会社については、2011年11月の更新審査で「複  
数法人による一括した認証・登録」へと本格的に移行し、  
2015年3月にすべての事業会社の登録を完了しました。  
2016年3月の認証取得状況は下表のとおりです。

●広友グループ環境取り組み組織図



認証・登録番号	
0004836	
認証・登録事業者	
広友ホールディングス株式会社	
認証・登録日	
2010年3月31日	
関連事業会社(認証・登録範囲)	
広友物産株式会社	広友インテックス株式会社
広友レンティア株式会社	株式会社リスタ
広友サービス株式会社	ONEデザインズ株式会社
広友ロジックス株式会社	

環境目標と実績

広友グループでは、全事業会社で環境マネジメントシステム「エコアクション21」を取得しています。  
その中で、環境活動計画を策定し目標達成に向けて環境活動を実施しています。

項目		基準年度 (2014年度実績)	目標値 (2014年度比)	実績 (2015年度)	活動内容	判定
地球温暖化抑制	CO <sub>2</sub> の削減 (t-CO <sub>2</sub> )	1,185	1,173 (-1%)	1,141	●冷暖房室温管理をはじめとする電気使用量削減活動 ●エコドライブをはじめとする燃料使用削減活動	○
	電気使用量 (MWh)	1,697	1,680 (-1%)	1,723	●パソコンディスプレイの電源をこまめに切る ●冷暖房の室温管理の徹底 ●エアコンフィルター清掃 ●蛍光灯の間引き ●パソコンモニタの照度を下げる ●省エネ商品に交換する	×
	ガソリン使用量 (千ℓ)	182	180 (-1%)	164	●できるだけ公共交通機関を利用する ●車間距離を守り、一定速度の経済運転をする ●アイドリングストップを実行する ●燃料積載量を減らし車体を軽くする ●加速・減速の少ない運転	○
廃棄物削減	廃棄物 (t)	274	263 (-4%)	369	●昼食時のごみの削減 ●廃棄物の分別を行い、資源化を図る ●処分品の部材再利用化を拡大する ●包装仕様の見直し、資源の再利用による梱包資材の削減	×
省資源	水使用量 (m)	9,232	9,140 (-1%)	9,236	●お湯を沸かすときは適量を心掛ける ●節水コマの取り付けや、元栓を絞り水量を減らす ●節水ステッカーの貼付	×
	コピー用紙 使用量 (万枚)	308	305 (-1%)	231	●会議などペーパーレス化を推進 ●両面印刷 ●スキャナーの積極利用 ●メールなどパソコンツールを活用してFAXを減らす ●営業社員にiPad、ノートパソコンを配布	○
その他	エコ検定の 合格者推進 (人)	9	10	8 (累計152名)	●eco検定®の概要説明 ●試験情報のお知らせ ●練習問題の配布	×
	グリーン購入率 (%)	53	実績把握	47	●必要性をよく考え、購入を控える ●価格、品質などが同等であればエコ商品を優先的に購入する	

マテリアルバランス

広友グループでは、エネルギーおよび資源を事業活動に投入(INPUT)し、  
その活動によって発生した二酸化炭素、廃棄物、排水(OUTPUT)の把握と削減に取り組んでいます。





環境報告  
環境活動データ

広友グループは、地球温暖化防止、廃棄物削減、省資源の取り組みおよび環境教育を推進しています。

地球温暖化防止の取り組み

- 取り組み内容  
電気使用量、車両燃料(ガソリン、軽油)、暖房燃料(灯油)、都市ガス、液化石油ガスの削減を各年度で目標を設定し取り組みました。
- 評価  
事業所床面積が増加しているにも関わらず二酸化炭素排出量は減少しています。特にエコ運転の推進とエコカーへの転換、積載率の向上により車両燃料の減少につながりました。
- 次年度の取り組み  
今後も消費電力の大きいエアコン温度設定の厳守、エコ運転の励行、暖房器具の適正温度の推奨などを実施していきます。



車体後部にステッカーを貼って啓発

廃棄物削減の取り組み

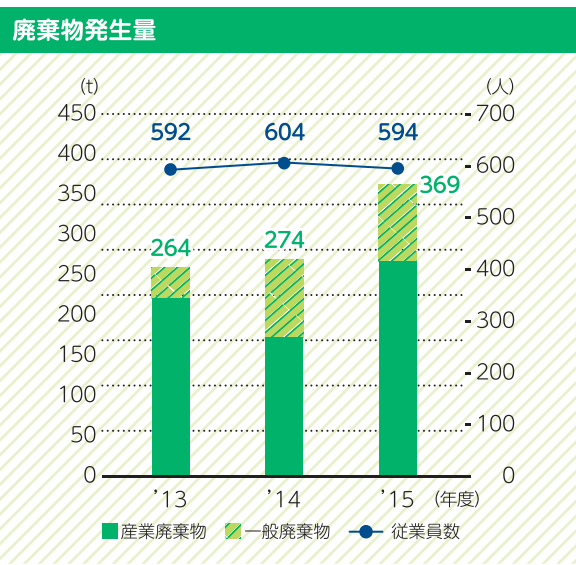
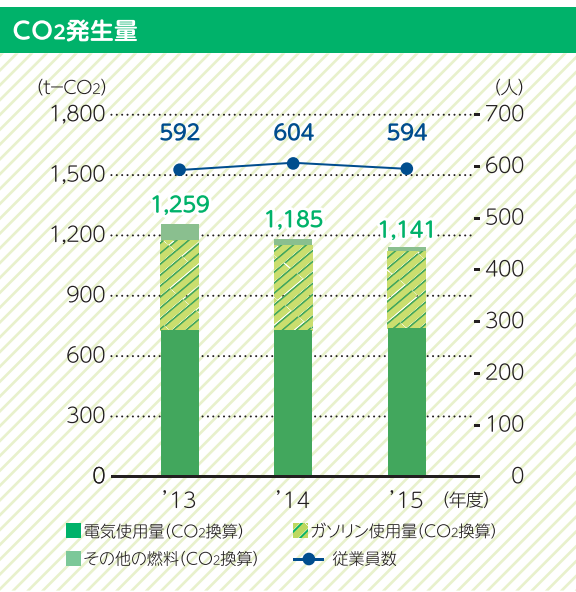
- 取り組み内容  
産業廃棄物はマニフェストによって数量を把握しつつ、適正に処理しました。一般廃棄物は、各事業所で把握要領を工夫し削減努力が明確にわかるようにしました。
- 評価  
産業廃棄物は、事業所などの移転により2014年度に比べ大幅に増加しました。一般廃棄物は従業員個人の意識向上により微小ですが減少しました。
- 次年度の取り組み  
マニフェストにより産業廃棄物の排出量を継続的に把握します。



ごみの分別



ごみ減量の啓発



省資源の取り組み(水使用量)

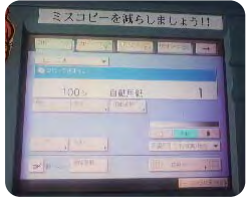
- 取り組み内容  
節水意識の向上と注意喚起をしました。
- 評価  
水使用量は、やや増加に転じましたが各事業所で工夫して削減努力を続けています。
- 次年度の取り組み  
節水意識向上のための注意喚起を継続します。



トイレに節水ポスターの掲示

省資源の取り組み(コピー用紙使用量)

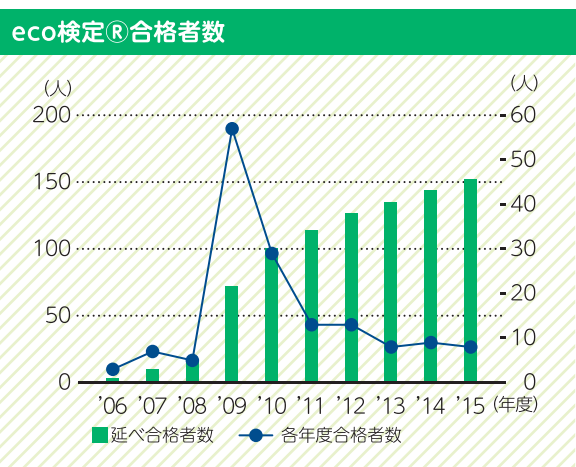
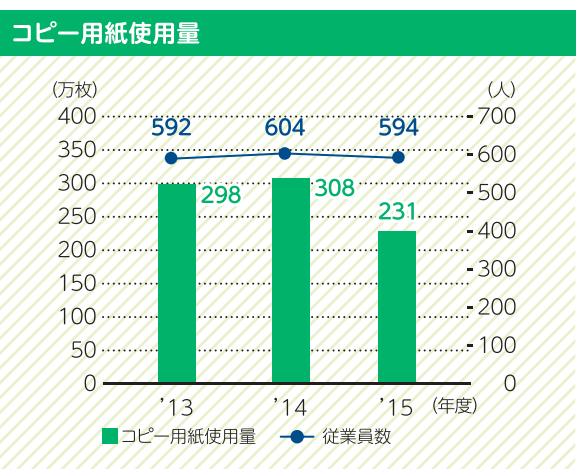
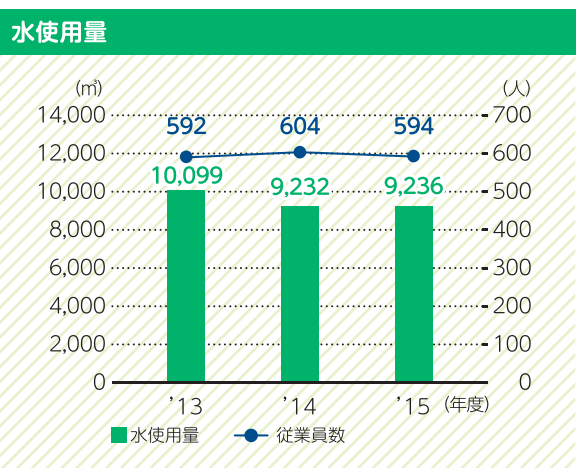
- 取り組み内容  
ソフト面での取り組みとして従業員への注意喚起を行いました。また、ipadを使用し印刷を少なくするとともに、エコモード付きの新しいコピー機導入により削減が推進されました。
- 評価  
2014年度は増加傾向にあったコピー用紙の使用量が、2015年度は前年度比約30%の減少となりました。会議でのペーパーレス化が進んだことで使用量削減につながりました。
- 次年度の取り組み  
ペーパーレス化を引き続き推進するとともに、コピー機使用の習熟によるミスプリントを防ぎます。



モニターにシールを貼って啓発

環境教育(eco検定®合格者)

- 取り組み内容  
環境創造型企業として特にeco検定®の受験合格に力を入れています。また、環境関連の支援施策や試験情報を発信し、社員の環境知識の底上げを図っています。
- 評価  
環境に関する資格や検定の取得を推奨してから10年が経過しました。環境に関心のある社員を中心に合格者が増加し、これまでの累計で全社員の25%が合格しています。これは教育による啓蒙が徐々に浸透していった結果だと考えます。
- 次年度の取り組み  
引き続き環境への興味と関心を与える教育を実施します。また、所属長以上の受験を推奨します。



●合格者、受講者の状況(累計)

資格、検定	eco検定試験®	152名
	3R・低炭素社会検定	26名
	太陽光発電アドバイザー試験	9名

※資格・検定は累計(2016年3月現在)



## CSR活動報告

## ダイバーシティ推進活動

広友グループは、働く女性の環境改善に取り組みます。

## なでしこレンタルプロジェクト

広友レンティアは、建設現場で働く女性の環境を少しでも良くできればという想いから、なでしこレンタルプロジェクトを立ち上げました。お取引先企業様のダイバーシティ推進の一助となるべくサービスを展開しています。

本サービスでは女性視点を活かした商品アイテムやサービスを提案しています。建設現場で働く女性に特化した専用カタログ「なでしこレンタルアイテム」や、当社女性アドバイザーによるきめ細やかな提案などを通じて、女性が気持ち良く働ける現場づくりをお手伝いいたします。



## 広友レンティアの想い

女性が活躍しやすい建設現場づくりにレンタルのノウハウで役立つ

創業以来、長年に渡り培ってきたレンタルのノウハウを活かし建設業界に貢献したい。

気持ち良く働ける現場づくりをお手伝いし、女性が輝く社会をつくりたい。

nadeshiko  
rental  
item

## 建設業界の目標

建設業界の女性技術者・技能者が働きやすい環境に

建設業界でも女性の社会進出を課題の一つに挙げ、その改善・改革を目標としています。

日本建設業連合会が「けんせつ小町※」を定め、働きやすい現場環境整備マニュアルを策定しました。



## 社会の流れ

ウーマノミクスが注目されている今、女性の活躍で社会の活性化を

男性も女性も社会で活躍し、喜びも責任も分かち合い、その能力や個性を十分に発揮できる社会に。

女性の社会での活躍が、企業や経済の活性化に。

※けんせつ小町とは、建築現場で活躍する女性やその取り組みを総称した名称です。

## プロジェクト推進メンバー

なでしこレンタルプロジェクトは以下の女性メンバーが中心となって、現場の女性が気持ち良く働ける環境づくりをお手伝いするための商品やサービスを充実させるべく日々検討しています。

左から 社員 保坂 美起 サブリーダー 鷲尾 浩子  
社員 菊池 香里 主任 加藤 恵理



社内打合わせ風景

## 女性が働きやすい環境って何？

休憩するときに横になれるものがあるといいな

背が届くところに鏡があるといいな

現場で働く女性の

ホンネ

女性専用のトイレがあったらいいな



現場で働く女性の声を取り入れて、快適な労働環境を  
広友レンティアの“女性アドバイザー”がご提案

## 広友レンティアがご提案するプラスα

広友レンティアは、日本建設業連合会の「『けんせつ小町』が働きやすい現場環境整備マニュアル」を軸に、女性がより気持ち良く働ける環境にするプラスαのアイテム **KOYOU+** を考えました。ここではその一部をご紹介します。

## ●小規模スペースには

限られた必要最小限な事務所スペースでも、安心して着替えたいという女性の声に配慮した空間づくりをご提案いたします。

例えば、目隠し効果の高いパーティションは2種類の幅を取りそろえ柔軟なスペースの確保が可能です。

パーティション

## ●中規模スペースには

着替えだけでなく、女性だけの休憩スペースを設けることで、リラックスした職場環境づくりに貢献します。体調不良時に横になれる配慮が必要です。

ベンチソファ

## プロジェクト推進本部の声

「なでしこレンタルアイテム」のコンセプトは、「広友だからできる、女性のための現場づくり」です。46年間のレンタルの実績とノウハウに加え、プロジェクトの女性メンバーが中心となって意見やアイデアを出し合い、よりきめ細やかなサービスや必要とされる商品を提供できるよう日々検討を重ねています。

今後もグループ会社や部門の垣根を越えて、広友だからこそできるサービスを駆使し、すべての働く女性により良い労働環境をご提案できるよう努めてまいります。



広友レンティア株式会社  
マーケティンググループ  
購買チーム サブリーダー  
市川 泰史



広友レンティア株式会社  
建設ソリューション営業部  
第2営業グループ 係長  
原 健太郎



## CSR活動報告

# ワークライフバランス

広友グループは、従業員満足の向上がお客様満足につながると考えます。

### 子ども参観日の実施

広友グループでは、次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と子育ての両立を支援するため、育児休業制度の推進、就業時間の短縮とともに、子ども参観日の施策を実施しています。

子ども参観日とは社員のご家族に広友グループの仕事への理解を深めてもらうため、子どもたちが両親の職場や仕事内容を体験するというものです。

2015年8月、関西支店にて8組のご家族に参加いただき、スタンプラリーで実際に働いている職場の見学、名刺交換体験などを行いました。子どもたちは、緊張しながらも目を輝かせてご両親と社内を見学していました。参加した社員からは、子どもたちが両親の職場環境や仕事の内容を体験することでそれらに興味を持ち、家族間での話題づくりに役立っているという報告もありました。



子ども参観日



### KANGIEN研修の取り組み

広友グループでは、社員育成を目的にKANGIEN研修を実施しています。研修には新入社員研修、営業研修、初級・中級・上級管理職研修などがあり、これは職務遂行力や管理能力向上、チームワークや部下育成など、社員総合力の向上を目指した教育システムです。また、仕事の能力だけでなく人間教育にも力を注いでいます。

2015年11月、自社の研修センターにて第2回中堅社員研修を22名が1泊2日で受講しました。中堅社員研修は、管理職になる前の若手社員を対象に、問題解決力をメインテーマとして、社員一人ひとりの自律・自立力の実現を目指した研修です。また、スキルアップだけでなく、社員同士の交流を深める機会にもなっています。

今後も仲間を思いやり、共に働き、共に成長していく高い志を持った社員の育成を目指し、取り組んでまいります。



中堅社員研修



#### KANGIENの由来

KANGIENという名称は、儒学者で漢詩人でもあった廣瀬淡窓が江戸時代に開いた咸宜園(大分県日田市)という塾が由来です。咸宜(皆がよろしい)園(塾)は、江戸時代の厳しい身分制度の中、分け隔てなく平等に教育した江戸時代最大級の私塾で学習教育・平等教育・人間教育を掲げています。廣瀬淡窓は、広友グループの設立に関わった廣瀬正雄氏の祖先であり、その理念は教育だけでなく経営にも大きく影響を与えています。

## グループデータ

### 広友ホールディングスの事業概要

会社名 / 広友ホールディングス株式会社

所在地 / 東京都港区赤坂1-4-17広友ビル

設立 / 1957年(昭和32年)

2009年4月1日持株会社化に伴い廣友物産株式会社から商号変更

資本金 / 4,000万円

(グループ合計 41,000万円)

事業内容 / グループ会社の経営統括と運営

#### 広友ホールディングス株式会社

##### 広友物産株式会社

オフィス家具・備品、家電・OA機器の企画・開発・販売事業

##### 広友レンティア株式会社

オフィス家具・備品、家電・OA機器の総合レンタル事業

##### 広友サービス株式会社

オフィス家具・備品、家電・OA機器、環境配慮型商品販売事業

##### 広友ロジックス株式会社

オフィス家具・備品、家電・OA機器のリペア・メンテナンス、物流、保管、在庫管理事業

##### 広友イノテックス株式会社

IT機器のレンタル、IT環境の構築・メンテナンス、OA機器のリペア事業

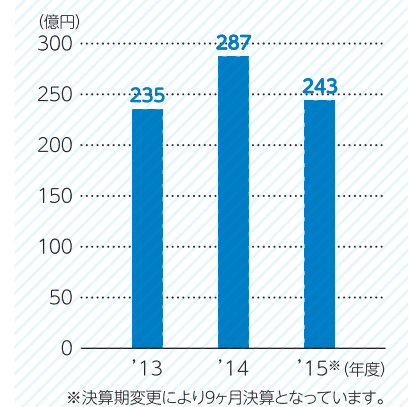
##### 株式会社リスタ

オフィス家具・備品、ホーム家具、家電・OA機器のリユースショップ事業

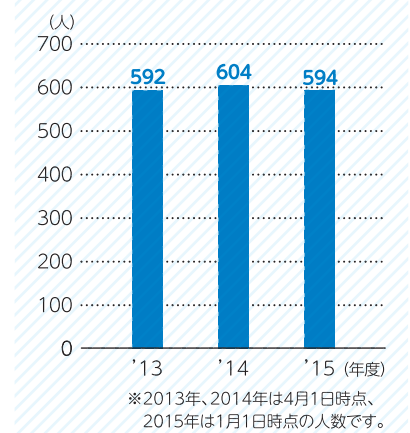
##### ONEデザインズ株式会社

マンションモデルルームの設計・施工・デザイン・インテリアコーディネート事業  
マンションのフリープラン設計変更対応、  
インテリアオプション商品の販売

#### 売上高推移(グループ合計)



#### 従業員数推移(グループ合計)



### 第三者意見

オリンピック・パラリンピックの開催で盛り上がりを見せるリオデジャネイロ。しかし、世界の熱い視線がこの地に注がれるのは今回が初めてではない。環境分野で歴史に残る国際会議が開かれ、大きく注目されたことがある。1992年の地球サミット(国連環境開発会議)だ。100カ国以上からの元首・首脳を含む180もの国が参加し、生物多様性条約や気候変動枠組み条約の署名が開始されるなど、これを機に世界が地球環境保全と持続可能な開発の具体化に向けて大きく動き出した。

あれから24年。リオデジャネイロで強まった環境への意識は日本でも多くの企業に浸透し、エコの視点からレンタル事業などを確立させた広友グループも早くからその理念をしっかりと根付かせてきた。そもそも環境貢献に派手さは必要ない。小さな貢献が積み重なって地球環境保全が実現するわけであり、「環境報告書2016」はその地道な努力が見て取れる内容となっている。

また、環境への貢献は人間が本来持っている自然に接する喜びを引き出してくれる。報告書に掲載された社員の方々の笑顔にもそれが表れている。「環境目標と実績」では判定に「×」が目立つ結果となった。しかし、実際に数値を掲げて挑戦する姿勢こそが重要であり、そこからは「環境創造型企業」としての前向きさが伝わってくる。

今回も菴連也さんのイラストが表紙を飾った。思わず微笑んでしまう暖かさや豊かな発想。これはまさに広友グループの環境活動のイメージそのものでもある。



別府大学 国際経営学科  
教授 阿部 博光氏